

1号報告 1-1

2022年度事業計画書

1. 会員

会員への各種情報提供機能の強化、協賛行事の拡大など会員サービスの向上をはかり、正会員・維持会員等会員の増加に務める。新たに65歳以上の会員様にシニア会員制度を設けるサービスを開始する。(事務局案)

2. 会誌

学術雑誌としての性格を維持し、会員のオリジナルな研究論文・技術論文・総合論文の掲載に重点をおくが、会員にとり親しみやすい会誌とするため、色材に関する先端技術から実用技術までを含めた平易な総説、解説、資料、講座、新製品・新技術紹介、主催・共催行事案内などを掲載し、会員の啓蒙、技術情報の提供を図る。21年度9月より、新企画として始めた企業から大学研究者へのインタビュー記事(年3回予定)については、22年度も継続する。また、魅力的な誌面とするため、3月、6月、9月の小特集記事及び12月号の特集記事については、カラーで掲載する。

3. 行事

行事の予定は次のとおりである。

	行事名	開催日	開催地
本部	色材協会創立95周年記念会議(ハイブリッド開催) (アルカディア市ヶ谷 東京都千代田区九段北4-2-25)	10/25,26	東京
関東支部	第31回顔料分散講座(オンライン開催)	2/4	東京
	印刷インキ入門講座(会場とオンラインでの開催)	5/27	〃
	塗料講演会(会場とオンラインでの開催)	5/20	〃
	第1回インクジェット部会講座	6月	〃
	第62回塗料入門講座(会場とオンラインでの開催)	6/16,17	〃
		7/14,15	〃
	印刷インキアドバンス講座(会場とオンラインでの開催)	10月	〃
	第2回インクジェット部会講座	10月	〃
	第4回欠陥対策講座(会場とオンラインでの開催)	11/11	〃
関西支部	第46回顔料物性講座	11/18	〃
	インクジェット部会技術研究会	11月	〃
	第18回色材IT講座	12月	〃
	色材産業紹介セミナー(オンライン開催)	2/2	大阪
	色材マテリアル講座(中止)	中止	〃
中部支部	色材セミナー	3/23	名古屋
	色材オブザベーション(見学会)	未定	東亜合成
	色材分析講座	9月	名古屋
中部支部	第52回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	11/5	愛工大
	色材アドバンスセミナー	12月	名古屋

4. 委員会

(1)企画運営委員会	理事会の補佐機関として、将来計画を含む協会業務の全般的な企画、運営を図る。又、重点課題として、会員増強等協会全体の財政面の改革を取り上げ、対策の立案・推進を行う。
(2)編集委員会	協会誌に掲載する研究、技術、総合の各論文、ノート、速報等の審査を行い、総説、解説、資料、連載講座、ニュース、サロン、企業から大学研究者へのインタビュー記事等の企画を行う。特に、論文審査を通じて学術雑誌としての水準を維持するとともに、特集や講座の充実を図り、魅力ある協会誌作りに尽力する。昨年度より始めた大学研究者へのインタビュー記事は、22年度も継続する。12月特集号は、国際ガラス年2022とのコラボレーションとしてガラスに関する研究を特集する。22年度より、3月、6月、9月の小特集記事については、ハーフカラー方式（2頁毎に見開きカラー）で提供し、特に12月特集記事については、フルカラー方式で提供する。95周年記念会議において発表者より小論文を募集し掲載する。
(3)ホームページ委員会	協会の顔となるべくホームページが、会員にとって魅力ある内容へ改訂と充実を図る。2022年4月1日リニューアルを目指す。
(4)2022年度95周年記念会議実行委員会	色材協会創立95周年記念会議を2022年10月25日(火)、26日(水)の2日間、アルカディア市ヶ谷（私学会館）仮で開催予定としている。コロナ禍でハイブリット開催を視野に入れた業者選択も必要となる。 実行委員長：酒井秀樹副委員長 副委員長：浅田匡彦副会長、柴田雅史理事
(5)国際化委員会	海外、特にアジア地域の色材関連機関、団体等との交流を深め、研究発表会には海外からの招待講演者を招聘すると共に一般参加者への広報を図る。
(6)その他の委員会	必要に応じて、企画運営委員会および理事会の議決を経て各種委員会を設け、協会業務の円滑な運営を図る。

5. 部会・研究会

(1) 顔料部会	関東、関西支部部会において、顔料に関する年間の行事と運営を行う。
(2) 塗料部会	関東、関西支部部会において、塗料に関する年間の行事と運営を行う。
(3) 印刷インキ部会	関東、関西支部部会において、印刷インキに関する年間の行事と運営を行う。
(4) インクジェット部会	関東支部において、インクジェットに関する年間の行事と運営を行う。また、部会内に若手を対象に、基礎的な内容を取り上げて交流を図る技術研究会の運営を行う。
(5) 研究会 (i) 顔料物性研究会 (ii) 木材塗装研究会 (iii) 測色研究会 (iv) 印刷インキ技術研究会	顔料およびそれに関連する基礎研究について、研究会を開催する。 木材の塗装・塗料に関する技術向上と産業界発展のために木材塗装基礎講座の開催、研修会、研究活動を実施する。 メタリック、パール、肌色等の測色、色差、デジタルアーカイブ、分光イメージング等について研究会を行う。 印刷インキとその関連材料に関する技術全般の調査、研究について、総会をはじめ、研究会、講演会、見学会や関連学協会との交流等を年間5回開催する。

6. その他

(1) 公益法人としての取組み	平成 25 年度に公益法人の手続きが完了。引き続き令和 4 年度も非営利型一般社団法人として活動を続ける。
-----------------	---